

情報システム工学科 卒業研究 ルーブリック

学科DP指標	到達目標	対象	配分 (%)	レベル3	レベル2	レベル1
B【倫理観】	【技術者倫理】	研究に取り組む姿勢	5	技術者としての社会的責任を理解し、常に配慮することができる。	技術者としての社会的責任を理解し、概ね配慮することができる。	技術者としての社会的責任を理解している。
F【コミュニケーション力】	【読解力】	研究に取り組む姿勢	5	多数の技術文書を読み、内容を的確に理解することができる。	技術文書を読み、内容を理解することができる。	技術文書を読み、概要を理解することができる。
H【未来志向力】	【問題発見力】	研究に取り組む姿勢	10	社会的要求を理解し、広い視野から大きな問題として捉え、その中から課題を抽出できる。	社会的要求を理解し、問題意識を持って問題を発見できる。	教員のサポートの下で社会的要求を理解し、どのように問題の発見に至ったか説明することができる。
H【未来志向力】	【問題解決力】 (問題解決)	研究に取り組む姿勢	10	主体的に問題解決に至る次のステップを考え、専門分野や関連分野の理論や原理、知識などを用いて問題解決できる。	専門分野や関連分野の理論や原理、知識などを用いて問題解決できる。	教員のサポートの下で、専門分野や関連分野の理論や原理、知識などを用いて問題解決できる。
H【未来志向力】	【問題解決力】 (遂行力)	研究に取り組む姿勢	5	適切な研究計画を立て、自主的、継続的に研究を遂行できる。	研究計画を立て、概ね自主的、継続的に研究を遂行できる。	教員のサポートの下で、研究を遂行できる。
G【協働を通じた自己管理能力】	【協働】	研究に取り組む姿勢	5	教員や研究グループでの議論を行い、その結果を主体的にフィードバックして研究内容のブラッシュアップに努めながら研究を遂行することができる。	積極的に教員や研究グループでの議論などを行いつつ研究を遂行することができる。	教員との議論などの協働を通して研究を遂行することができる。
H【未来志向力】	【まとめる力】	卒業論文	20	研究の背景を踏まえた研究の位置づけや意義、研究目的を理解し、内容および結果を考察して、成果をもたらす効果や限界を評価することができる。	研究目的を理解し、内容および結果を考察して、評価することができる。	研究内容および結果を考察することができる。
F【コミュニケーション力】	【発表力】 (論文(要旨))	卒業論文	10	研究背景、目的、課題解決の方法、結果、考察、結論などがよく推敲され論理立てて的確に表現されている。	研究背景、目的、課題解決の方法、結果、考察、結論などが論理立てて表現されている。	研究背景、目的、課題解決の方法、結果、考察、結論などが概ね表現されている。
F【コミュニケーション力】	【発表力】 (発表)	発表	15	研究内容・成果がよく構成され、聴衆にわかりやすいように工夫された発表をすることができる。	研究内容・成果を論理的に構成した発表をすることができる。	研究内容・成果が概ね理解できる発表をすることができる。
F【コミュニケーション力】	【発表力】 (質疑)	発表	15	質問の意味を的確に理解し、適切かつ確に回答することができる。	研究内容に沿って概ね的確に回答することができる。	研究内容に沿った回答をすることができる。

- ※ 「学科DP指標」は情報システム工学科のDP（ディプロマ・ポリシー）の項目に対応している。
- ※ 「到達目標」はシラバスの到達目標の項目に対応している。
- ※ 「対象」は各評価項目についての評価対象を示している。
- ※ おおよそレベル3がSに、レベル2がAに、レベル1がCに相当し、成績評価は重み付き和で算出される。
- ※ レベル1に達していない項目が1つでもある場合には不合格となる。